

平成 3 1 年度墨田区立中和小学校経営報告書

令和 2 年 3 月 8 日

| | |
|-------------|--|
| 学 校 目 標 | 教職員、保護者、地域社会が一体となって推進する満足度の高い学校 (確かな学力の保障・豊かな社会性) |
| 目 指 す 学 校 像 | 保護者・地域から信頼され、安心して子供をあずけられ、地域の学舎として誇られる学校 |
| 目 指 す 子 供 像 | 挨拶ができ、友達と仲良く学校生活を送り、「中和小学校」で学べて良かったと誇りに思える子供 |
| 目 指 す 教 師 像 | 子供の豊かな学びを大切にしながら、自らも教師修行に励む教師 |

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------|---|---|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 各教科等指導 | 学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。 | A | 昨年同様、基礎基本の学習は定着している。後期より自学学習を取り入れ、家庭学習は約 90% 以上の定着が見られる。学校評価の児童では「わかりやすい授業」、保護者では「工夫した授業」の項目評価が高かった。さらに研鑽を積む。 | A | A |
| | 学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。 | B | 支援を必要な子供の支援体制はできている。特別支援巡回指導員からも子供に成長が見られると報告がある。今後は各学級の周りの児童が温かく受け入れる体制を強化していく。 | B | A |
| | 学校は、子供の将来の自立に向けた教育活動・相談活動に取り組んでいるか。 | B | 自己肯定感の高い児童が多い。学校行事では、目標を掲げて努力させることで成功体験を重み、将来の夢や目標に向かう姿をつくる。 | B | A |
| | 学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。 | A | 8 回の研究授業、夏季休業時の模擬授業、プログラミング教育及び外国語研修会など、新学習指導要領の示す授業を追求した。今後も教科指導、学級経営の基本を研鑽していく。 | A | A |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | 先生方の熱心な指導により着実に学力が向上しているように感じる。墨田を引っ張っていくような存在であってほしい。また、自己肯定感の高いことはよいことである。子供同士の教え合う関わりの充実を願う。 | | | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|-------|---|------|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 生活指導等 | 学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。 | B | 早期発見、早期対応を心がける。いじめや子供の問題行動では情報を共有し対応策を練る。子供が安心して相談できる学校を目指す。 | B | A |
| | 学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。 | B | 生活リズムチェックによる基本的な生活習慣の振り返りや学校生活のきまりの徹底を継続。道徳、いじめ防止授業を重視し、全教育活動を通して相手を思いやる心の育成を強化する。 | B | A |
| | 学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。 | A | いろいろな場面(台風、大雨)を想定した避難訓練の実施、登校の見守り、集団下校、防犯ブザー | A | A |

様式 4

| | | | | | |
|--|--|---|--|---|---|
| | いるか。 | | 一所持確認など、子供の安全知識及び意識向上を図る。さらに自助から共助への安全指導を行う。 | | |
| | 学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立てているか。 | B | 保護者の意見や要望は真摯に受け止め、子供にとってよりよい教育活動を追求する。早期対応、事実確認、保護者への連絡等、学校体制を確立し対応する。 | B | A |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | 健全な生活指導は、学校教育充実の基本である。礼儀正しい、中和らしい児童が健やかに育っていると感じている。保護者の声に傾聴したり、児童の相談に時間をかけたりする時間を大切にしてほしい。 | | | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|--|--|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 学校の管理運営 | 学校は、管理職の経営方針をもとに、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。 | A | 教職員の「チーム中和」という意識を高め、若手教員の活躍の場、教え合いの活性化を図り、教師力を伸ばす学校を目指す。 | A | A |
| | 学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。 | A | 各行事ではPACDによる過程を通して改善策を練り実施する。子供の実態を見取り、事前の授業計画、日々の授業改善を重視する。 | A | A |
| | 学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。 | B | 児童数の増加により余裕教室がない。全教職員による環境整備を行い有効な活用を考える。学び舎に相応しい明るく人に優しい環境をつくる。 | B | A |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | 学校便りの印刷物の配布の負担を減らせるよう、情報メールなど、ITを活用して業務量を減らしていく。学校環境は学校だけでは達成できない問題であり、地域の協力も不可欠である。 | | | |

| 項目 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|---------|-------------------------------------|--|---|----------|---------|
| | | 達成状況 | 改善策 | 自己評価について | 改善策について |
| 家庭・地域連携 | 学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。 | B | 学校からの文書や連絡が何時でも確認できるよう、ホームページに掲載し情報メールで知らせる。重複文書をなくしていく。 | B | A |
| | 学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。 | A | 本校の特色ある教育活動の一つである「学校・保護者・地域の三位一体の教育活動」を推進する。計画的に保護者や地域人材の活用を実施する。 | A | A |
| | 学校関係者評価委員会の意見等 | 最近、子供会の加入率が低下している。地区外児童の増加の影響もあるし、加入のメリットを感じられない保護者も増えている。ペーパーレス化はエコ活動にもつながる。抵抗のある方への配慮も考えていきたい。 | | | |

2 平成31年度学校評価のまとめ

先生指導のチーム力、児童への接し方を頼もしく感じている。環境面において、校内美化が素晴らしい。いつ行っても清潔で整理整頓されている。地域のシンボルとしての学校と、保護者、地域が三位一体しっかりと連携が図れることは心強い。改善策の実現に向け、努力してほしい。

以上の通り報告いたします。

墨田区立中和小学校 学校長 寺崎 康子